

城ヶ岳



令和4年4月7日
第1号
佐世保市立宇久中学校
校長 萩山 栄二

●学校教育目標 「ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒」

●教育理念 「磨く」「輝く」「光る」「子どもは『希望』である」

< 新年度が始まりました >

■4月7日（木）令和4年度の着任式・始業式があり令和4年度が始まりました。校長として2年目となります。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

■始業式では、次のようなこととお話ししましたので、紹介します。

「一つ目は、学校教育目標についてです。宇久中学校の学校教育目標は、「ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒の育成」となっています。これを三つに分けて捉えると、「ふるさとを愛する」という、郷土愛「主体的に学習する」という、学力の向上「自らの判断で正しく行動できる生徒」という、人間力となります。「郷土愛」「学力の向上」「人間力」の三つが、目標として描かれています。この三つを意識して学校の活動を考えていきます。ふるさとである宇久で学びを深め、人間的にも成長できるようにしていきたいと考えています。ですから皆さんがこの1年間で「ふるさとを愛する気持ちが強くなった」「勉強が楽しくなった」「人間的に向上した」といった思いを持てるよう、頑張ってください。

二つ目は、継続することの大切さです。「お前の立つところを深く掘り下げよ。その下に泉がある」という人がいます。これは深く掘り下げれば、良い結果が見つかるものであるということです。しかし一方で、「一鍬掘り足りなかったばかりに水の出ない人がいる」という人もいます。自分の足元を掘り下げても、掘り下げても泉が見つからない。たどり着かない。するとあきらめます。でもそれがあと一息のことがあります。でも、人はそこで諦めてしまうものです。「あと一鍬」を諦めないためには、「何のために足元を掘っているのか」その目的を強く持つことが大事なのです。この話は、いつも話をしている「磨く」「輝く」「光る」と同じことだと思えます。磨いても光り輝かないからと途中であきらめないために、何のために自分は磨くのか

目標や目的をしっかりとって、今日から始まる新年度をスタートさせましょう。」

< 4月の行事予定 >

- 7日（木） 着任式 始業式 ※お弁当の日
- 8日（金） 入学式 ※給食開始です
- 11日（月） 身体測定 生徒会オリエンテーション
- 13日（水） 尿検査①
- 14日（木） 内科検診
- 19日（火） 全国学力・学習状況調査
 - <3年生 国・数・理・質問紙>
 - 長崎県学力調査 <2年生 国・数>
 - 佐世保市学力調査<1年生 国・数>
- 20日（水） 長崎県学力調査<3年生 英>
- 20日（水） 避難訓練
- 21日（木） 小中高合同歓迎交流会 ※お弁当の日
- 27日（水） 学校開放日
PTA 総会
尿検査②
- 28日（木） 心電図検査



< 転入職員の紹介 >

■令和4年度長崎県教育委員会定期人事異動により、次の5名の先生が転入されました。

- 教 頭 田迫 照康 技術 長崎県教育センター
- 教 諭 永山 諒 保体 長崎市立緑が丘中学校
- 教 諭 佐藤 才文 社会 新規採用
- 養護教諭 村里 千夏 佐世保市立鹿町中学校
- 事務職員 野瀬 功樹 新規採用

これから、どうぞよろしくお願いいたします。

■事務補助員の 白石 光 さんについては、学校給食費の公会計化に伴いスクールサポートスタッフ（市会計年度職員）に任用が変わりましたので、紹介いたします。

